# S1000RR 2023　フレームスライダー　取付要領書

AELLA

この度はAELLA製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本製品の取り付けには、必ず専門の知識・技術を持たれる方が作業に当たって下さい。

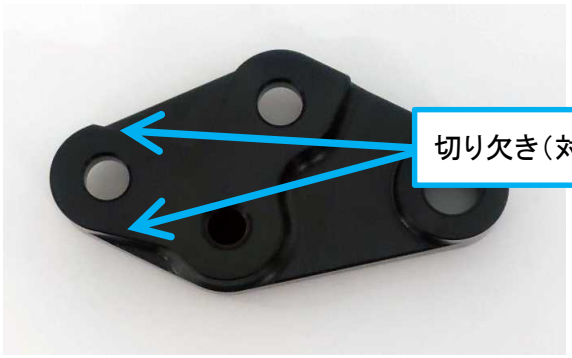
AE-68152
参考作業時間：1h

⚠ 作業時、カウルに傷がつかない様に養生して下さい。

■左（クラッチ）側　※車両の特性上必ずこちら側から先に取り付けて下さい。

①取り付け位置の純正マウントボルトを取り外し本製品を仮締め後、プレート(アッパー)の切り欠きにスパナ等をかけ
ゴムシートとフレームの隙間を1mm程度あけマウントボルトを本締めして下さい。
カウルを戻す前に付属のボルト穴カバーを付けて下さい。※締め付けトルク：56Nm

②スライダーヘッド部一式を取り付けて下さい。
※ネジロック（中強度）、締め付けトルク：18Nm
※出荷時固定済み







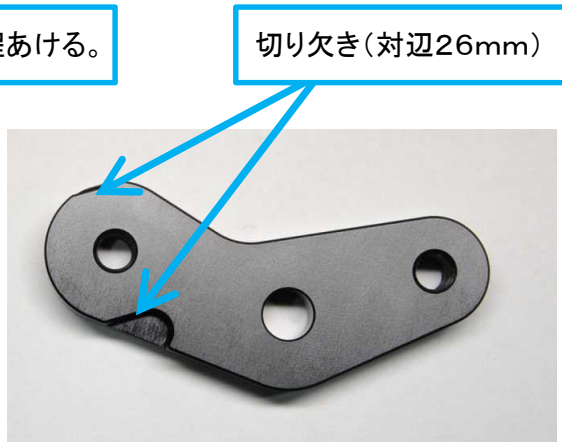
■右（ブレーキ）側

①取り付け位置のマウントボルトを取り外し、19．6mm（短い方）のカラーを向きに注意して仮締めして下さい。

②プレートRh裏側の切り欠きにスパナ等をかけ、回り止めダンパー（長）とフレームの隙間を
1mm程度あけ、マウントボルトを本締めして下さい。締め付け後、付属のボルト穴カバーを付けて下さい。
※締め付けトルク：56Nm

◎最後に左右のスライダーヘッド側面に開いているφ6の穴に
ピンポンチを差し込み増し締めして下さい。
※出荷時、ネジロック剤塗布済み。補修等で取り付ける際はアルミベースをベースプレートに取り付けた後
スライダーヘッドを　手で軽く止まる所まで回し、そこから更に45度程度締め込んで下さい。

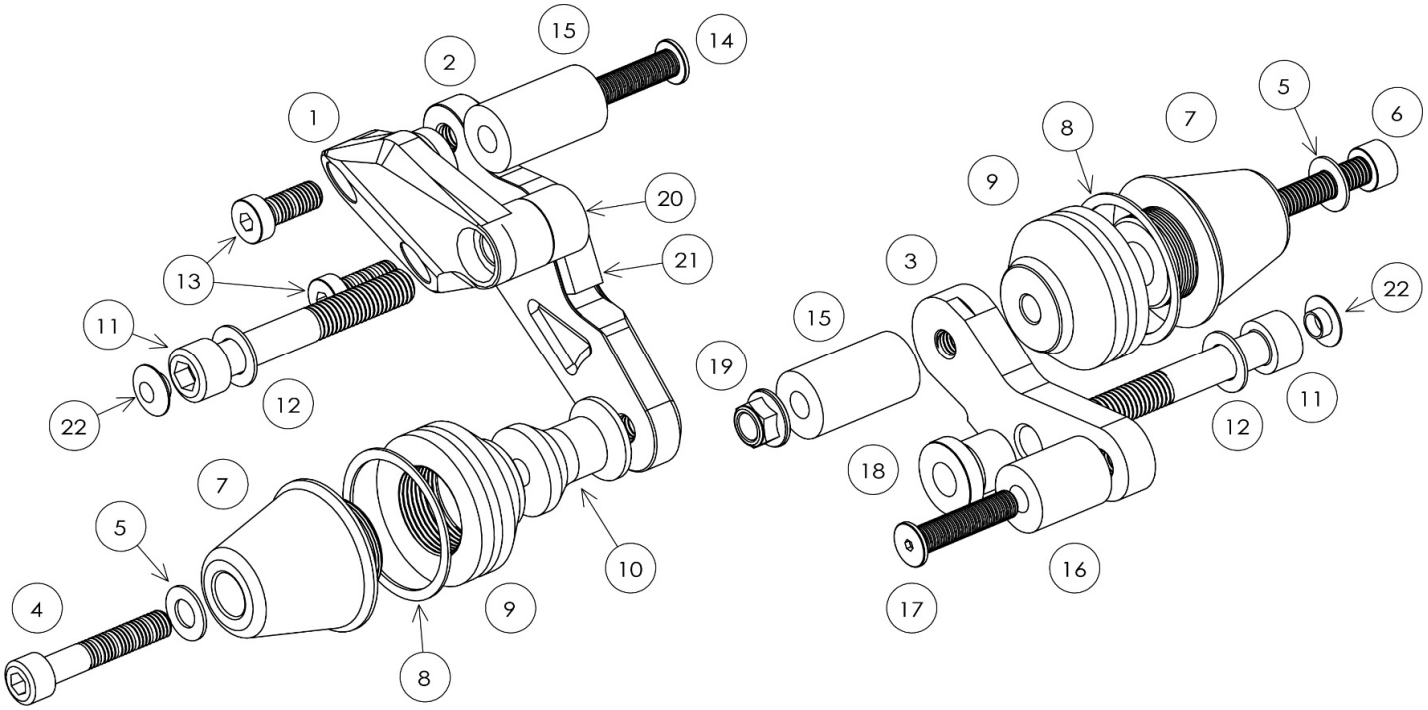



Produced by
CASUNO
株式会社カスノモーターサイクルAELLA事業部
〒612-8473　京都市伏見区下鳥羽広長町217
TEL：075-622-7439

# S1000RR　2023　フレームスライダー　分解図

## Lh（クラッチ側）　　Rh（ブレーキ側）




| No. | パーツ名 | 数量 | 備考 | No. | パーツ名 | 数量 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ベースプレート Lh アッパー | 1 | | 12 | M10 ワッシャ | 2 | |
| 2 | ベースプレート Lh ロワ | 1 | | 13 | 六角穴付き低頭ボルトM8L20 | 2 | ※2 |
| 3 | ベースプレート Rh | 1 | | 14 | 六角穴付き極低頭ボルトM8L50 | 1 | ※2 |
| 4 | 六角穴付きボルトM8L45 | 1 | ※1 | 15 | 回り止めダンパー（長） | 2 | |
| 5 | M8 ワッシャ | 2 | | 16 | 回り止めダンパー（短） | 1 | |
| 6 | 六角穴付きボルトM8L60（全ﾈｼﾞ） | 1 | ※1 | 17 | 六角穴付き極低頭ボルトM8L35 | 1 | ※2 |
| 7 | スライダーヘッド | 2 | | 18 | Rプレートカラー 19.6mm | 1 | |
| 8 | アルミワッシャ | 2 | | 19 | M8 フランジロックナット | 1 | |
| 9 | スライダーアルミベース | 2 | | 20 | アッパープレートカラーL12.6 | 1 | |
| 10 | ベースカラー　L30 | 1 | | 21 | ゴムダンパー | 1 | |
| 11 | 鉄 六角穴付きボルトM10L80 | 2 | | 22 | ボルト穴カバー | 2 | |

※1：ネジロック剤塗布（ロックタイト243、ビブラタイト121　中強度相当推奨）
※2：ネジロック剤塗布（ロックタイト263、ビブラタイト140　高強度相当推奨）

アルマイト製品について

・アルミニウムの表面を電気化学的に酸化させ、皮膜を生成させたものです。
・着色アルマイトについては塗装の様な微妙な調色はできません。 また使用するアルミの材料によっても色が違ってきます。
・着色アルマイトは、紫外線、熱、薬品、洗剤などの要因で色褪せやひび割れが発生します。
・アルマイト厚みは、0．005mm～0．02mmと非常に薄い為、部品同士が擦れる箇所や
　乗車時にブーツが擦れる箇所で摩耗し下地のアルミ表面が現れます。
・アルマイト処理を行う際に部品を保持する部分（接点）には色が付かない場合があります。